

美濃加茂市名誉市民

第1号

津田 左右吉(つだ そうきち)

(1873年～1961年)

加茂郡栃井村(現在の美濃加茂市下米田町東栃井)生まれ。

歴史研究において史料に基づく実証的な手法を初めて日本で確立し、さらに日本だけではなく中国や朝鮮の地理・歴史の研究に大きな足跡を残した歴史学者。

戦後、左右吉は学問の向上に貢献したとして第8回文化勲章を受章。



第2号

岸 東八郎(きし とうはちろう)

(1906年～1977年)

美濃加茂市古井町生まれ。

昭和38年から昭和52年まで4期にわたって市長を歴任。

8・17集中豪雨の復旧や中濃体育館(現プラザちゅうたい)の開館など、さまざまな業績を残す。



第3号

渡辺 榮一(わたなべ えいいち)

(1918年～1997年)

美濃加茂市太田町(現在の太田本町)生まれ。

太田町長を経て、昭和29年に初代美濃加茂市長に就任。昭和38年から30年近くにわたって、衆議院議員として国政の場で活躍する。

昭和54年には建設大臣に就任するなど、多くの要職を歴任。

